

神戸外国人墓地セミナー

再度山 に刻まれた 記憶

ばんどうふりょ

板東俘虜収容所とドイツ人捕虜の遺産

この講演では、鳴門の板東俘虜収容所でのドイツ人捕虜の生活や文化活動、そして、神戸再度山の外国人墓地に眠る彼らの足跡をたどります。捕虜たちが異国の地でどのような影響を与えたのかをご紹介します。また、日本で初めてベートーベンの第9交響曲が演奏された背景や捕虜たちの個々の人生を通じて板東と神戸を結ぶ歴史を探ります。



場所 神戸市立外国人墓地 礼拝堂

定員 40名（先着順・1月10日受付開始）

申込 神戸市立外国人墓地事務所
（☎078-341-5200）に電話
※一組4名様までとさせていただきます。

講師：長谷川 純子（HASEGAWA Sumiko）

京都市立芸術大学美術学部を卒業後、京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）大学院で博士課程を修了（博士・学術）。ジュネーヴ大学大学院ではスイス政府奨学金留学生として美術史の研究に従事。

2024年に『イタリア・ルネサンスにおける額縁の誕生ータブローの起源』（行人社）を刊行。現在は、鳴門市ドイツ館の学芸員として、資料保存や捕虜収容所の研究、展示企画に取り組みほか、地域文化の振興と国際交流に寄与。歴史と文化を通じた地域間連携を深め、新たな価値の創出を目指している。



申込・お問い合わせは

神戸市立外国人墓地事務所（☎078-341-5200）までお願いいたします。

3.15.2025
sat 14:00-15:30